「ユーリカ民法」第2巻 目次

「ユーリカ民法」シリーズの刊行にあたって はしがき 凡 例 本書の利用の仕方

♦	第	1部	物	権				
第	1	章	総	論 -				— 3
1	物	権の意	意義					 . 4
	1	物権と	には何か	4				
	2	物権法	法定主義	5				
	3	物権の)種類	6				
	4	物権の)客体(客体となる	ら物の要件	,物の分類) 8	
2	物	権の対	助力					 14
	1	物権的	的請求権	14				
	2	物権の)優先的	効力 18	3			
第	2	章	物権	変動総	論 —			- 20
	_	•						
1	序	i	計					 20
	1	物権の	の取得	20				
		DA LITT	ノれて「寸	20				
•	2)変更					
		物権の		21				
	3	物権の)変更)喪失	21	勿権の変	動		21
•	▶3 法	物権の	の変更 の喪失 為を原 因	21 21 3とする 4				
2 3	▶3 法	物権の)変更)喪失 為を原 因 動の意思	²¹ ²¹ 図とする4 思主義と4				

4	物	権変動の時期	23
第	3	章 不動産物権変動の公示 ————	25
1	公	示の原則と公信の原則	25
2	不	動産登記	26
	1	意 義 26	
	2	不動産登記簿 26	
	3	登記の種類 27	
	4	登記手続 29	
	5	不動産登記の有効要件 30	
3	中	間省略登記	31
笙	/1	章 177条の適用される物権変動 ————	22
カマ	4	早 117米ツ旭用でルる物性を割	- 33
1	不	「動産物権変動の意思主義(176条)と対抗要件主義(177条)	0
		係	
		•	
2	取	消しと登記	35
	1	問題の所在 35	
	2	判例の考え方 35	
	3	判例の批判点 36	
	4	判例と異なる学説 37	
	5	錯誤無効への96条3項類推適用の問題 38	
3	解		
		保と登記	38
	1		38
	≥ 1		38
,	_	問題の所在 38	38
,	≥ 2	問題の所在 38 判例の見解 39	38
)	≥2 ≥3 ≥4	問題の所在 38 判例の見解 39 判例と異なる学説 40	
4	▶2 ▶3 ▶4	問題の所在 38 判例の見解 39 判例と異なる学説 40 法定解除 (541~543条) によらない解除の場合 41	

 ▶3 遺産分割と登記 43 ▶4 相続放棄と登記 45 ▶5 「相続させる」旨の遺言と登記 45 5 取得時効と登記 ▶1 問題の所在 47 ▶2 判例法理 47 ▶3 諸学説 50 	47
第 5 章 177条の「第三者の範囲」	54
1 問題の所在	54
2 当事者とその包括承継人	55
3 登記なしに物権変動を対抗できない第三者	55
4 登記なしに物権変動を対抗できる第三者 ▶1 実質的無権利者 57 ▶2 不法行為者 58 ▶3 一般債権者 58 ▶4 転々譲渡の前前主 58 ▶5 不動産登記法 5条に該当する者 58 ▶6 背信的悪意者 59	57
第 6 章 動産物権変動 ————————————————————————————————————	63
1 動産物権変動の公示 ▶1 民法178条の意義 64 ▶2 動産変動の公示(引渡し) 65 ▶3 民法178条の「第三者」 68	目
2 動産の即時取得	69 次

▶1 即時取得とは 69	
▶2 即時取得の要件 69	
▶3 即時取得の効果 73	
▶4 盗品,遺失物に関する特則 74	
3 立木等の物権変動	76
▶1 立木等の物権変動 76	
▶2 立木等の物権変動の公示方法 76	
第7章 占 有 権 —————————————————————————————————	79
1 占有の成立	79
▶1 占有の意義 79	
▶2 「占有」が認められるために必要な要件 80	
▶3 間接占有(代理占有) 81	
▶4 占有の取得と消滅 83	
2 占有の効力	84
▶1 占有の本権表章機能に基づく効力 84	
▶2 取得時効に関連する規定 85	
▶3 占有に基づく義務の負担 88	
▶4 占有訴権 88	
3 準占有	93
第 8 章 所 有 権	04
77 O + 771 N 1E	34
1 所有権の意義	95
▶1 所有権の制限 95	
▶2 所有権の性質 95	
2 所有権の内容	96
▶1 土地所有権の及ぶ範囲 96	_
▶2 相隣関係 96	
3 所有権の取得	122
▶1 所有者がないか不明な場合に関する所有権の帰趨を定めるルール	

> 2	新たな物が生まれる場面の所有権の帰趨を定めるルール:添付	
共	有	105
1	共有の法的性質 106	
2	共同所有の諸形態 106	
▶3	共同所有の内容 107	
\ 4	共有物の管理・処分 108	
> 5	共同所有の主張 109	
▶ 6	共同所有の消滅 110	
▶7	共有の解消と持分上に存した担保権 112	
▶8	準共有 112	
建	物の区分所有	112
1	所有に関する事項 113	
	管理に関する事項 115	
	義務違反者に対する措置 117	
4	復旧と建替え 119	
	章 用益物権	— 122
物	章 用益物権	123
物 地 ▶1	章 用 益 物 権	123
物 地 ▶1 ▶2	章 用 益 物 権	123
物 地 ▶1 ▶2 ▶3	章 用益物権 権の一般的得要 上権 取 得 124 存続期間 124 消 滅 125	123
物 ▶1 ▶2 ▶3 ▶4	章 用益物権 権の一般的得喪 上権 取得 124 存続期間 124 消滅 125 対抗要件 126	123
物 ▶1 ▶2 ▶3 ▶4	章 用益物権 権の一般的得要 上権 取 得 124 存続期間 124 消 滅 125	123
物 ▶1 ▶2 ▶3 ▶4 ▶5	章 用益物権 権の一般的得喪 上権 取得 124 存続期間 124 消滅 125 対抗要件 126	123
物 ▶1 ▶2 ▶3 ▶4 ▶5 ▶6	章 用益物権 権の一般的得喪 上権 取得 124 存続期間 124 消滅 125 対抗要件 126 地上権の効力 126	··· 123
物 ▶1 ▶2 ▶3 ▶4 ▶5 ▶6	章 用益物権 権の一般的得喪 上権 取得 124 存続期間 124 消滅 125 対抗要件 126 地上権の効力 126 区分地上権 127	··· 123
物 ▶1 ▶2 ▶3 ▶4 ▶5 ▶6 ▶1	章 用益物権 権の一般的得要 上権 取得 124 存続期間 124 消滅 125 対抗要件 126 地上権の効力 126 区分地上権 127	··· 123
物 地 ▶1 ▶2 ▶3 ▶4 ▶5 ▶6 №1	章 用益物権 権の一般的得要 上権 取得 124 存続期間 124 消滅 125 対抗要件 126 地上権の効力 126 区分地上権 127 小作権 永小作権の取得 128	··· 123
物 地 1 2 ≥ 3 ≥ 4 ≥ 5 ← № 1 ≥ 2 ≥ 3	章 用益物権 権の一般的得喪 上権 取得 124 存続期間 124 消滅 125 対抗要件 126 地上権の効力 126 区分地上権 127 小作権 永小作権の取得 128 存続期間 129	··· 123
物 地 1 2 ≥ 3 ≥ 4 ≥ 5 6 永 1 ≥ 2 3 ≥ 4	章 用益物権 権の一般的得要 上権 取得 124 存続期間 124 消滅 125 対抗要件 126 地上権の効力 126 区分地上権 127 小作権 永小作権の取得 128 存続期間 129 永小作権の消滅 129	··· 123

4	地	役 権				- 130
	1	地役権の性質	131			
	2	地役権の取得	131			
	▶3	存続期間 132				
	4	地役権の消滅	132			
	5	対抗要件 132				
	▶ 6	地役権の効力	133			
5	入	会 権				134
	1	権利主体 134				
	2	対抗要件 135				
	▶3	入会権の主張	135			
	▶ 4	消 滅 136				
4	第	2編 担保物	権			
第	10)章 担保法	亨論(債権	担保概観	・意義)——	— 141
	1	担保物権の意義	機能 142			
	2	担保物権の種類	143			
		10000000000000000000000000000000000000	143			
		担保物権の性質				
	▶3	担保物権の性質	効力 143			— 146
	▶3		効力 143			— 146
	> 3	担保物権の性質 章 法定担	効力 143 呆 ————			,
第 1	> 3	担保物権の性質 章 法定担	况			,
第 1	▶3 11 留 ▶1	担保物権の性質 章 法定担 置 権	况 ————			,
第 1	▶3 11 a ▶1 ▶2	担保物権の性質 章 法定担 置 権 留置権とは 1	架 ————————————————————————————————————			,
第 1	▶3 •11 • • • • • • • • • • • • • • • • •	担保物権の性質 章 法定担 置 権 留置権とは 1 留置権の成立 留置権の効力	架 ————————————————————————————————————			,
第 1	▶3 •11 • • • • • • • • • • • • • • • • •	担保物権の性質 章 法定担 置 権 留置権とは 1 留置権の成立 留置権の効力	深			,
第 1	▶3 11 ¥1 ▶2 ▶3 ▶4 ▶5	担保物権の性質 章 法定担 置権 留置権とは 1 留置権の成立 留置権の対力 留置権の消滅	宋			146
第 1 2	▶3 11 ¥1 ▶2 ▶3 ▶4 ▶5	担保物権の性質 章 法定担 置権 留置権とは 留置権の成立 留置権の効力 留置権の消滅 商事留置権 1	深 7 147 149 150			146
第 1 2	▶3 \$\frac{11}{11}\$ \$\rightarrow{1}{2}\$ \$\rightarrow{3}{4}\$ \$\rightarrow{5}{5}\$ \$\rightarrow{5}{5}\$ \$\rightarrow{1}{2}\$	担保物権の性質 章 法定担 置権 留置権とは 1 留置権の成立 留置権の対力 留置権の対力 留置権の消滅 商事留置権 1 取特権	宋			146

第	12	2章 質 権 ——————————————————————————————————	160
	1	質権とは 161	
	> 2	質権の成立 162	
	▶3	質権の効力 163	
	\ 4	転 質 164	
	> 5	権利質·不動産質 165	
笄	13	3 章 抵 当 権 —————————————————————————————————	168
1	抵	当権の成立とその効力	168
	1	抵当権とは何か 169	
	▶2	抵当権の成立 170	
	▶3	抵当権の消滅 171	
	\ 4	抵当権の効力が及ぶ範囲 173	
2	抵	当不動産の使用収益をめぐる利害調整	179
	1	抵当不動産の賃借人の保護 180	
	> 2	抵当不動産の収益 181	
3	抵	当不動産の売却・競売をめぐる利害調整	185
	1	抵当不動産の売却をめぐる利害調整 187	
	2	抵当不動産の競売をめぐる利害調整 190	
4	抵	当権侵害	195
	1	債務者, 抵当不動産所有者による減価行為 196	
		第三者による減価行為 197	
5	遊	合債権者との利害調整	202
•	1	抵当不動産以外の財産からの債権回収 203	
	•	抵当権の処分 204	
		弁済者代位 207	
		特殊な抵当権 209	
		-	

目

次 xiii

語	瘦担保	21
1	譲渡担保とは 218	
▶2	譲渡担保権の成立 219	
▶3	在庫商品の担保:集合動産譲渡担保 219	
▶ 4	売掛代金債権等の担保:集合債権譲渡担保 220	
▶ 5	対抗要件:占有改定,動産・債権譲渡登記制度など 221	
▶ 6	譲渡担保権の効力 222	
▶ 7	譲渡担保権の実行 223	
戸	f有権留保	22
1	所有権留保とは:所有権留保制度の利用目的 225	
> 2	所有権留保の成立 225	
▶3	留保所有権者の地位 226	
\ 4	第三者に対する効力 226	
> 5	所有権留保の実行 227	
什	は理受領・振込指定	22
1	代理受領・振込指定とは 229	
2	代理受領の成立 230	
▶3	代理受領の効力 230	
4	振込指定の成立・効力 230	

参考 乂 献 刀 イ ト

判例索引

事項索引